

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Drawing		
○保護者評価実施期間	R8.1.15		R8.2.15
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		
○従業者評価実施期間	R8.1.15		R8.2.15
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8.2.28		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別療育	1日1枠のみ受け入れとし、完全個別療育を実施していません。ただし、発達段階によっては異年齢交流(就学期のお子さん)も取り入れています。	就学後に放課後等デイサービスをご利用予定のお子さんとデイのお子さんとの交流を積極的に行っていき、スムーズな移行を取り組んでいきます。
2	保育所等訪問支援事業があり、園と情報共有ができること	児童発達支援のご利用者さんはすべての方が保育所等訪問も併用してご利用されていますため、園と常に連携をとることができています。	お子さんにとってなにか大切かをもっとも優先として、園と良好な関係を継続していきたいと思っています。
3	多職種連携	ABAセラピスト・作業療法士・心理職・保育士が配置されているため、常に多職種連携が可能です。また、スタッフはほとんど毎日出勤しているため、情報共有の漏れも少ないかと思っています。	それぞれの職種の専門性をいかした内部研修を行い、支援の質を高めていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一日1枠しかないため、今現在は新規の案内が難しい。	集団生活に入る前の未就園の頃から通所が可能ですが、次年度は空き枠がございません。	就園を見据えたお子さんへの児童発達支援以外の受け皿についての事業計画を考えております。
2	ホームページなど情報発信が希薄になっている。	支援スキルの向上をや支援の準備を優先にしているため、なかなか手が回らなくなっている。	配置基準は満たしているが従業員数を増やし、ホームページなどの情報発信に限らず充実を計りたい。